

## PD 企画「献血」について考える



12月10日(火)に献血ルーム西海より、講師の方をお招きし、「献血」についてお話をさせていただきました。血液の成分のお話から、献血した血液が輸血用として使用されるまでの過程などを知ることができました。もちろん、献血が多くの人々の命を救っていることも再確認することができました。修学旅行出発前日の企画だったにもかかわらず、高校2年生が多く参加してくれました。説明を聞くことで終わりではなく、この後、高校生として、何ができるかを仲間たちと考えていきたいと思えます。

自己  
決定力

柔軟性

ワクワク  
感

自己  
理解

当事者  
意識

いろんなお話を聞くとまずは「自分事」として考えるようになりますよね。(当事者意識を持つようになる)これ大事!

その話は決して興味がないものでもいいと思うのです。まったく興味のなかった話から何かとても大事な気付きがあるかもしれないのだから…

実行力

探究心

新たな  
価値

先入観  
の排除

対話力

この企画に関して、君たちに知ってもらいたい点があります。それは生徒自身の持ち込み企画であるということです。このような目的でこのような企画がやりたいという相談が私に直接ありました。そこで、外部の大人(献血ルーム西海)とつなぎ、Teamsで参加希望者を募り、実現しました。

PD企画って先生方が準備しているものが多いと思いますが、自分たちがやりたいことを企画することもできるのです。「企画書」を作って、先生方に相談すればいいと思います。その企画書の中に、目的、内容をできるだけ詳細に書き、考えられる問題点とその解決策等が含まれていたら大丈夫です。その企画書を先生方といっしょによりよいものへ練り上げていくことがとても重要です。学生時代にこのようなことを経験する機会があることが素晴らしいので、是非、君たちがやりたいことを実現していきましょう。

誰かが企画したものに参加してくれた仲間たちが加わり、グループができる。そのグループで次のステージに進むことができれば、多様な意見があるので、よりよいものが作られていく。いろんな気付きがあり、そのメンバー一人ひとりが成長していく。このような活動を素敵な大人たちの力を借りて、高校生が社会とつながりを持っていく。そんな感じになるといいなと思います。Take action with passion!

